ＯＢ会だより

第55号

〈発　行〉
京都外国語大学
能楽部OB会広報部

第五十五回外大能十二月八日（土）於河村能舞台

今年の能楽は「吉野天人」、舞囃子は「高砂」「野守」です。さらに現役の仕舞に加えて、ＯＢ会からも舞囃子と仕舞、地謡に大勢のメンバーが参加します。ＯＢ、ＯＧの連吟曲は「紅葉狩」です。

皆さんは現役時代、どんな気持ちで外大能当日を迎えましたか？冷たくて凛とした空気、独特の緊張感、仲間との連帯感…あの時に感じたものはきっと、心に深く残っているのではないでしょうか？

外大能は今回、記念すべき五十五回目を迎えます。長い間、橋本礒道先生　忠樹先生のご指導のもと、学生達とＯＢが協力しながら毎年つないできました。お忙しい時期とは存じますが、是非お越しくださいますようお願い申し上げます。

また、ＯＢ会だよりでも毎号お願いしていますが、ＯＢ会だよりの作成、郵送および外大能の開催などは皆様のＯＢ会費で成り立っています。今後も外大能楽部とＯＢ会が続いていくためにも、是非会費の納入をよろしくお願い致します。振込先など詳しくは8頁にございますので、ご覧ください。

今号の注目記事

◆能楽部ＯＢ会会長ご挨拶…1P
◆部長挨拶・現役部員の外大能への意気込み…2P
◆のべおか天下一薪能レポート…3P
◆新ＯＢ会員紹介・ＯＢ交歓会…4P
◆ＯＢ会総会と第十回ゆかた会開催…4P・5P
◆橋本礒道先生喜寿ツアーの報告…6P・7P
◆第55回外大能番組紹介…8P

世代を越えてつながる外大能

ＯＢ会会長　島谷 直見



来る十二月八日（土）、河村能舞台におきまして第五十五回記念ＯＢ会共催「外大能」が開催されます。

半世紀を越えて「外大能」の回を重ねて参りましたが、これも一重に先生方を始めＯＢの皆様の篤いご支援の賜物と心より深く感謝申し上げます。

現役の能楽「吉野天人」舞囃子「高砂」「野守」の舞台に今年もＯＢ・ＯＧが地謡としてつきます。

こうして、現役とＯＢ・ＯＧが舞台を通して共に仲良く活動する事は、私たち能楽部にとりましてはごくごく自然の形となっていますが、実際はなかなか難しい事のようです。

「外大能の舞台を共に作り上げる事」には、年代・時代を越えた「大切なもの、心を一つにするもの」が存在するからだと思います。クラブ離れの流れを受けて、能楽部も部員獲得が難しい時代を迎えています。

これからもＯＢの皆さんのさらなるご理解とご支援を頂きながら、回を重ねていく事を心より願っています。

どうぞ、今後とも宜しくお願いいたします。

ＯＢ会の諸先輩方へ

部長　藤原万由美



第五十五回という記念すべき舞台に、今年度も多くのＯＢ、ＯＧの先輩方に御出演していただけることを、大変うれしく思っております。

今年度の記念外大能の演目は、能「吉野天人」と舞囃子「高砂」「野守」、仕舞三番、そして、ＯＢ、ＯＧの方々の舞囃子「熊野」、仕舞七番となっております。

私たちは本番に向け、日々練習に励んでおります。部員が少なく、上回生も就職活動に追われる時期のため、ギリギリで運営を行っている状態ではありますが、部員一同一丸となってそれぞれが納得のいく舞台になるよう頑張っていく所存です。

御多忙中とは存じますが、一人でも多くの先輩方にお越し頂けますと幸いでございます。部員一同御来場を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、毎年御支援、御協力を頂いております ＯＢ、ＯＧの皆様に心より感謝を申し上げますとともに、今後も変わらぬ御指導、御鞭撻の程お願い申し上げます。

現役部員の外大能への意気込み

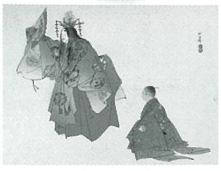
能「吉野天人」後シテ　藤原万由美

はじめに、このような貴重な機会を下さいました、橋本礒道先生、橋本忠樹先生をはじめ諸先生方、御出演、御協力いただきました先輩方に心より感謝を申し上げます。私は第五十五回記念外大能にて能「吉野天人」の後シテを勤めさせていただく藤原と申します。

入部した時、先輩に「羽衣」の仕舞を見せていただいたことがきっかけで、鬘物の演目が好きになり、外大能で能をだすときは鬘物の演目にしようと心に決めていました。そのため、記念の舞台で憧れであった鬘物の演目である「吉野天人」の後シテを勤めさせていただくことになり、大変うれしく思います。

実際に演じてみると、長絹の扱いが難しく、また、能面をつけると視界が狭くなり、方向や位置感覚がなくなってしまい、うまく舞えなくなることが多々あったため、心が折れかけてしまいました。しかし、先生方や先輩方の熱心に指導してくださる姿をみると頑張ろうと自分を奮い立たすことができました。美しい天女の舞を表現できる様、精一杯練習に励みたいと思います。





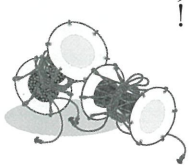
吉野天人（イメージ）

校友会のＨＰで能楽部の活動が紹介されています。

昨年のＯＢ会だよりでご紹介しました外大校友会のホームページでは、能楽部の活動報告が発信されています。

京都外国語大学で創部五十年を越えて活動をしているクラブは数少ないですが、私達能楽部は、毎年年末に開催している「外大能」を始め、現役とＯＢ会の交流など、能楽部としての活動を欠かすことなく大切に続けている事が校友会会員の方々にも伝わっていることと思います。

これからも一緒に京都外国語大学能楽部を盛り上げましょう！



京都外国語大学校友会　能楽部　検索

京都外国語大学校友会の能楽部紹介
http://www.kufs.ac.jp/koyukai/move/club/nougaku/

脚注:イメージ写真は、能「吉野天人」能楽図絵耕漁（国立国会図書館 蔵）

コラム

宮崎県の面打ち「天下一」を訪ねて

広報部　橋口莉奈



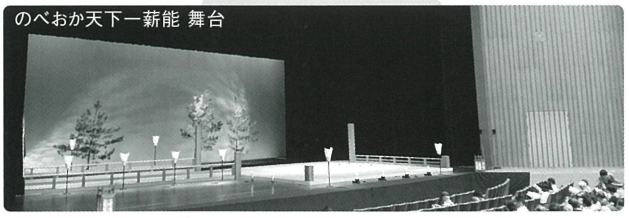
天下一と呼ばれる能面がある。桃山時代から江戸時代にかけて活躍し、時の権力者より「天下一」の称号を与えられた面打ちの手によるものである。面の裏に「天下一」の焼印が押され、文化的価値も高い。そんな能面を数多く所有していたのが、旧延岡藩（現在の宮崎県延岡市）を治めていた内藤家である。かつて延岡城下において、歴代城主が催す神事能でそれらの面は使用された。



のべおか天下一薪能 案内チラシ

その歴史を受け継ぐべく、延岡市では毎年薪能が催されている。千人以上の市民ボランティアの手による「のべおか天下一薪能」、今年で第二十二回目となる。

去る十月六日、私は延岡を訪れた。薪能は例年延岡城址で催され、「千人殺し」と呼ばれる高さ二十メートル超の石垣を背景に、能舞台が設置される。が、今年は度重なる台風被害により、屋内での蝋燭能に変更となった。演目は、能『羽衣』、狂言『太刀奪』、能『恋重荷』に、地元の子供達により仕舞三番が舞われた。音や声の響き方・演目に合わせた照明の調節など、ホールならではの良さもあり、特に『羽衣』よりも室内の照明を落とし、蝋燭の揺らめきがはっきり見える中での『恋重荷』は、重々しい雰囲気が一層色濃く感じられた。



のべおか天下一薪能 舞台

延岡市内では薪能前に数回の能楽講座や、能ウィークと称して能面の展示などを行っている。また、地域の子供達が能に親しむためのプログラムがあり、次世代に受け継ぐ活動も積極的だ。過去の演能において地元の子供達が子方として出演し、プロの能楽師との共演を果たしたこともある。地域に根付く身近な文化として能が受け入れられるこの延岡では、「天下一」を目指し、来年も薪能が催される。



宮崎日日新聞

能楽師の着付けに拍手「薪能」向け延岡で講座

10月6日開催の第22回のべおか天下一薪能を盛り上げようと、延岡市で能楽講座（NPO法人のべおか天下一市民交流機構主催）が始まった。第1回は7日、観世流シテ方能楽師で天下一薪能にも出演する橋本忠樹さん（48）＝京都府向日市＝が、能装束の公開着付けを延岡駅前複合施設「エンクロス」で行った。



能楽講座で能装束の着付けを実演する能楽師の橋本忠樹さん

橋本忠樹先生が延岡市で能楽講座を行い、宮崎日日新聞に掲載されました。

新ＯＢ会員紹介



会員 No.165
村上円香

平成三十年三月に卒業し、この度ＯＢ会に入会いたしました村上円香と申します。

現在営業職の仕事をさせて頂いており、日々楽しくまた社会の厳しさを痛感する日々を過ごしております。

私の大学生活は能楽部であったと言ってもいいのではないかと言うほど、能楽部で過ごした四年間は濃く、充実した日々でした。ただ、楽しいだけではなく色々辛いこともあり、一時期は「辞めたい…」と考える時もありました。

しかし、先輩方や後輩達の支えがあり、四回生まで続けられることができました。

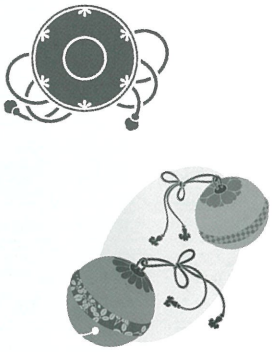
そして、四回生ではずっとやりたいと思っていた「巴」を半能という形で出させて頂きました。自分の中で「巴」のシテを勤めさせて頂いた経験は、辛い時の心の支えになっております。

能楽生活から卒業し仕事をしていく中で謡が恋しくなり、島谷先輩にその旨をお伝えしたところ花鏡の会に入らせて頂くこととなりました。

この度の外大能では「巻絹」を舞わせて頂きます。卒業後も能楽に携われることを嬉しく感じます。

部室に顔を出す機会は減りましたが、なんらかの形で現役の力になれたらと思います。

これからもどうぞよろしくお願い致します。



ＯＢ交歓会開催



「いふじ」にて

七月十五日（日曜日）に現役部員とＯＢとの交歓会が開催されました。私は参加出来なかったのですが、参加したＯＢの方に話を聞くと、現役の学生さんたちが、ビシッと正座して先生やＯＢの到着を待ってくれていた姿がとても印象的だったそうです。

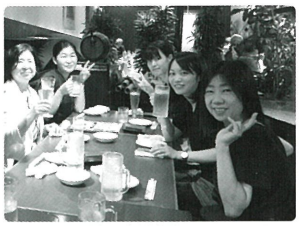
お鍋を食べながら、ＯＢと現役の方が親睦を深めるとても良い機会になったと話していました。ただ、私も行けなかった一人ですが、ＯＢの参加が三名と大変少なかったそうです。

来年は多くのＯＢが参加する交歓会になればと思います。

ＯＢ会総会と第十回花鏡の会「ゆかた会」開催！

八月四日（土曜日）にＯＢ会総会・ゆかた会が開催されました。真夏の暑い中でしたが、多くのＯＢが集うことができました。花鏡の会メンバーによる仕舞の発表、参加者全員での連吟の後、総会が開かれ、会計報告や今後の活動について各役職の代表から報告がありました。

またＯＢ会 島谷直見会長からは能楽部とＯＢ会の現状について、能楽部の現役部員が少なくなっていること、一人一人の経済的な負担が増えてしま






っていることから、ＯＢ会としても何か現役を経済的に援助する方法を考えなくてはならないのではないか、そのためにもＯＢ会の収入を増やし、支出を切り詰めていく必要があることなどが報告されました。その後、具体的な案として、外大能の後にＯＢに送付している写真を今後も継続していくのかどうかなどについて話し合いました。

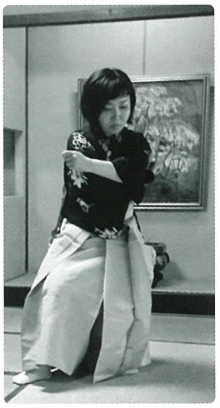


様々な意見が出て、大変有意義な時間になりました。来年も、今年のように多くのＯＢが参加し、ＯＢ会をより良いものにするために話し合い、交流を深める場となればと思います。みなさんの参加をお待ちしています。

ゆかた会










祝 橋本礒道先生 喜寿御祝い記念ツアーを終えて

今年六月、長年京都外大能楽部を親身にご指導くださっている橋本礒道先生が喜寿を迎えられました。今までの感謝とこれからのご健勝を祈念して、礒道先生ご家族との一泊旅行と食事会が、次の日程で開催されました。

◎六月十六日　「有馬グランドホテル」にて宿泊、喜寿祝賀会
◎六月十七日　神戸三宮「老房」にて礒道先生のお誕生日会

豊臣秀吉も愛した三名泉のひとつ、有馬温泉でゆったりと寛ぎ、翌日は大勢の卒業生が集い、礒道先生を囲んでの盛大な会となりました。

参加した方々から先生へお祝いの品をお渡ししたり、思い出話や近況報告など話は尽きず、時間はあっという間に過ぎていきました。能楽部のつながりの深さを改めて感じられたことと思います。

今回のツアーに参加された方々からのお祝いコメントをご紹介します。

礒道先生の喜寿のお祝い旅行に参加させていただき、たくさんのＯＢ、ＯＧの方と楽しい時を過ごすことができました。

初めてお目にかかる方もおられ、大学生活の四年間では知り合うことのできなかった方々と、時間を共有できたのも礒道先生がつないでくださったご縁のお陰と感謝しています。次の機会も是非参加したいです。

丸岡嘉容子（旧姓北森）

還暦のお祝い旅行が楽しかった記憶もあり、今回すぐに参加のお返事をさせて頂きました。

六甲の山並みの見える展望温泉、宴会は宿泊部屋に戻ってからも続き、とても楽しく贅沢な時間を過ごさせて頂きました。ふと学生時代の自分に、三十年後に礒道先生のお祝い旅行で有馬温泉に行くんだよと言ってみたくなる不思議な気持ちになりました。

傘寿のお祝い旅行も是非参加させて頂きたいと思います。

増田勝彦

あれは夢だったのかしら、と思うほど素晴らしい旅でした。礒道先生の喜寿のお祝いに参加させて頂けるなんて、忠樹先生と子育てのお話ができるだなんて、学生の頃は思いもよらないことでした。卒業し、能楽から離れ、ＯＢ会にも全く参加できていない私ですが、また何か、ご恩返しできることがあれば、と願ってやみません。

吉井優芙子（旧姓光田）

先日は、礒道先生の喜寿をお祝いする会に参加させていただ



有馬グランドホテル前にて







※参加者のコメントは順不同です。

き、ありがとうございました。仕事の都合で全日程の参加はかないませんでしたが、同期の小林と、礒道先生や島谷先輩をはじめとした諸先輩方とお食事をご一緒できたことを嬉しく思います。

また、能楽部の長い歴史をＤＶＤを通して拝見でき、楽しく、素晴らしい時間を過ごすことができました。

卒業してからというもの、外大能やその他の行事にも参加できておりませんが、今後は少しずつでも出席できたらと思っております。

村田瑞穂

所用があり、喜寿のお誕生日会から参加させていただきましたが、当日、参加者の多さに驚きました。多くの先輩・後輩、そして、なんとお孫さんも加わって、それは楽しそうな先生のお顔が印象的でした。

皆さんの思い出話や失敗話で大いに盛り上がり、忘れられない会となりました。



有馬グランドホテル宴会場にて

次は米寿？今から楽しみです。

田中ゆう子（旧姓家田）

礒道先生喜寿お祝い会に参加させていただきありがとうございました。

礒道先生にお会いし、短い時間でしたが皆様と一緒にお祝いできた事を嬉しく思います。先生とは再び雪上車の思い出話もできましたし、島谷先輩はじめＯＢＯＧの方々とも久々にお会いでき、本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。

長年、外大能にもなかなか出席できていませんが、こうして集まれる場所がある事に感謝しています。次期は夫婦揃って出席できればと願っております。

兵道伸子（旧姓杉森）

礒道先生、喜寿おめでとうございます。先生が元気に喜寿を迎えられたことをお祝いでき、大変嬉しかったです。卒業生一人ひとりのエピソードを忘れず懐かしそうに語ってくださる礒道先生。どんなに年月が経っても、能楽部という居場所があるということは本当に幸せなことだと改めて感じました。

最後になりましたが、会を企画してくださったＯＢ・ＯＧの方々、本当にありがとうございました。

小笠原真実（旧姓久世）

この度は礒道先生喜寿お祝いの会に参加させて頂き、誠にありがとうございました。

二日目のみの参加で短い時間ではありましたが、礒道先生とお会いしお祝いすることができ、とても嬉しく、またこのような機会を与えて下さり、感謝の気持ちしかございません。

京都を離れてからなかなか集うことが難しくありますが、現役たちを応援する気持ちは今も昔も変わりありません。能楽部の益々のご発展を祈念しております。

深澤仁美（旧姓坂本）



神戸三ノ宮 老房（ラオファン）前にて

※参加者のコメントは順不同です。

平成三十年十二月八日（土）午後一時始メ　於 河村能舞台

第五十五回 外大能 番組紹介（簡略）

高砂　舞囃子　金光 優衣
仕舞　高良 未香

弓八幡　高良 未香
龍田　キリ　高嶋 賢人
杜若　キリ　木町 莉子
仕舞　村上 円香（ＯＧ）

巻絹　キリ　村上 円香（ＯＧ）
車僧　増田 勝彦（ＯＢ）
仕舞　井上 真一（ＯＢ）

小鍛冶　クセ　木村 与宣（ＯＢ）
鉄輪　土井 智代（ＯＧ）
仕舞　森 皓平（ＯＢ）

菊慈童　藤原 敏起（ＯＢ）
巴　キリ　鵜飼

野守　舞囃子　大垣 愛満
熊野　村雨留　舞囃子　島谷 直見（ＯＧ）
紅葉狩　連吟　ＯＢ・ＯＧ ★
番外仕舞　橋本 雅夫

雨之段　橋本 雅夫
柏崎　道行　橋本 礒道
枕之段　橋本 忠樹
能

吉野天人
前シテ　山本 梨恵
後シテ　藤原 万由美
後見　橋本光史　橋本忠樹
地謡　木町莉子　高良未香　大垣愛満　金光優衣　西村文香　土井智代　島谷直見　塚田智恵
附祝言

★多数のご参加をお待ちしています。足袋をご持参ください。

橋本忠樹先生2019年演能予定

◆4月6日（土）　名古屋片山能　「百萬」　シテ　橋本忠樹　子方　橋本和樹
◆7月21日（日）　片山定期能　「橋弁慶」　シテ　橋本忠樹　子方　橋本和樹

＜能楽部関連ホームページのご案内＞

『京都外国語大学能楽部』➡ https://twitter.com/kufsnoh
能楽部の現役部員が管理しているツイッターです。部員達の近況をご覧頂けます。
是非、アクセスしてみてください。

『観世流能楽師 橋本忠樹先生のHP』➡ http://www.hashimoto-tadaki.jp/
能楽部講師 橋本忠樹先生のご活躍や能楽に関する様々なお話が紹介されています。

会計局から会費納入のお願い

◎一般会員　8千円
◎夫婦会員　1万2千円
前年度分まで未納の方は本年度分と併せてお振り込みくださいます様お願い申し上げます。
［振込先］
☆郵便口座
００２８０－１－５２０７６
☆加入者名
京都外国語大学能楽部ＯＢ会

編集後記

今年もお陰様で読み応えたっぷりのＯＢ会だよりが出来上がりました。お忙しい中原稿を執筆下さった皆様、ありがとうございました。
昨年ご紹介した「外大校友会」のホームページ、皆さんご覧になりましたか？バックナンバーをひとつひとつ見ていくと、人と人のつながりの暖かさを感じます。
大学を卒業しても、現役時代一緒に過ごしていなくてもつながれるＯＢ会の輪。このＯＢ会だよりがこれからもその一助になれれば幸いです。

《ＯＢ会だより第55号》
◎編集責任者　唐木啓子
☆編集委員／藤原敏起・土井智代・鴨川愛子・栗山藍・塚田智恵・橋口莉奈
◎発行責任者　島谷直見